

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

「明日の夢」実現のために
新規事業を立ち上げ、さらなる成長を目指す

特集

事業紹介

システム運用・保守

ACMOSソーシングサービス株式会社
医療情報システム運用保守管理

キーパーソン対談

変化するお客様のニーズに応える

アクモスジャンクション

株式会社ジイズスタッフ

ECサイトのデータ更新事務局
運営業務が好調

株式会社エクスカ

国内初のUSB3.0認定ラボに

人を育てる

アクモス株式会社
「技術研修」

アクモス 株式会社

証券コード：6888

2012
Vol.09

Top Message

トップメッセージ

「明日の夢」実現のために 新規事業を立ち上げ、さらなる成長を目指す



代表取締役社長
飯島 秀幸

第21期は「サービス領域の拡大と 質の深化」に注力

第21期は、「サービス領域の拡大と質の深化」に特に注力してまいりました。

「サービス領域の拡大」においては、茨城県より委託された『ひとり親家庭等在宅就労支援事業』が本年終了し、複数年度にわたる官公庁事業一括受託でのIT技術を活用したサービスを拡大することができました。『ひとり親家庭等在宅就労支援事業』は、ひとり親家庭の親御さんの仕事と家庭の両立のために

ITスキル訓練の実施によって在宅就業を促進することを目的としたものです。平成23年度の事業においては、受講者約500名のうち250名以上が全コースの訓練を修了され、修了生の一部の方々は在宅就業されております。受講者からは、訓練内容をはじめ託児環境への感謝や、「同じ立場にいる方々と悩みを共有できた」などのご意見をいただき、当社にとっても非常に貴重な業務経験となりました。また、自社ブランド製品を開発するための市場調査と研究開発を進めた結果、CTI（※1）を利用した電話受付とGIS（※2）による位置表示を活用した通信指令システムが完成し、第21期中に2件の受注を実現することができました。

一方、「質の深化」を目指して新たに交通システム等の開発請負案件に取り組みましたが、いくつかの受注案件において、開発期間の長期化や経験者不足により不採算となりました。今後も質の深化のためにはお客様の多様な要求への対応が欠かせないと考

えておりますが、採算を度外視することはできません。今日の失敗を明日の成功に繋げるため、第22期はプロジェクト管理体制の最適化、品質・技術力の向上に全社で取り組みます。

※1 CTI (Computer Telephony Integration System)

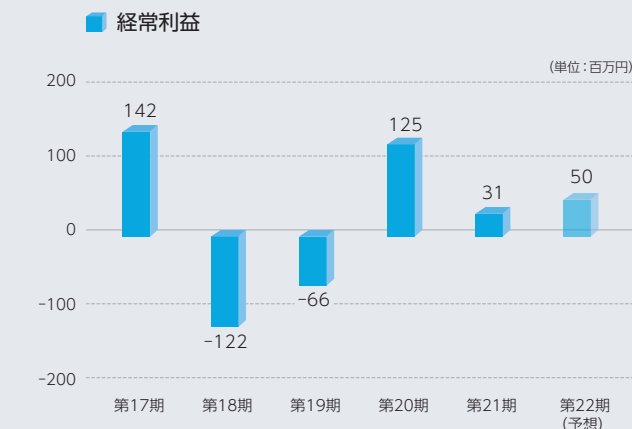
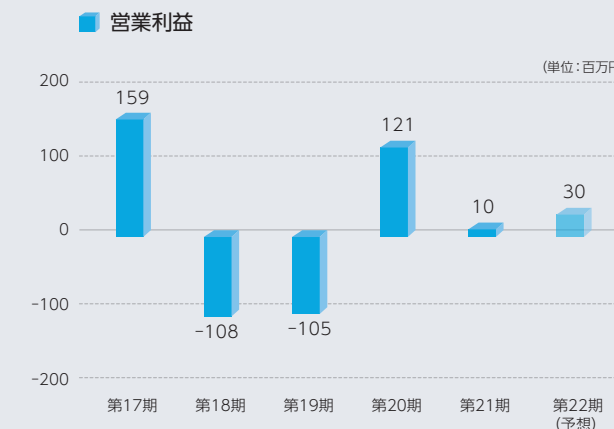
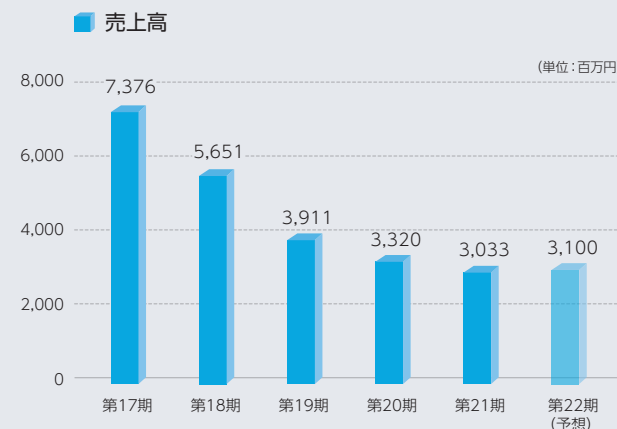
…電話とコンピュータの統合システム

※2 GIS (Geographic Information System) …地理情報システム

第21期の業績について

第21期の業績につきましては、ITソリューション事業における主要なお客様のソフトウェア調達部門再編や電力系システム開発の需要回復の遅れ等もあり、収益性の面で特に厳しい1年となりました。そのため緊急経費削減対策として、当社個別の役員報酬及び執行役員給与ならびに社員賞与の削減等を実施いたしました。

以上の結果、第21期の業績は、売上高3,033百万円（前期比8.7%減）、営業利益10百万円（前期比91.7%減）、経常利益31百万円（前期比74.7%減）、



当期純利益16百万円（前期比62.2%減）となりました。

第22期のテーマは「事業再構築」「新規事業創出」

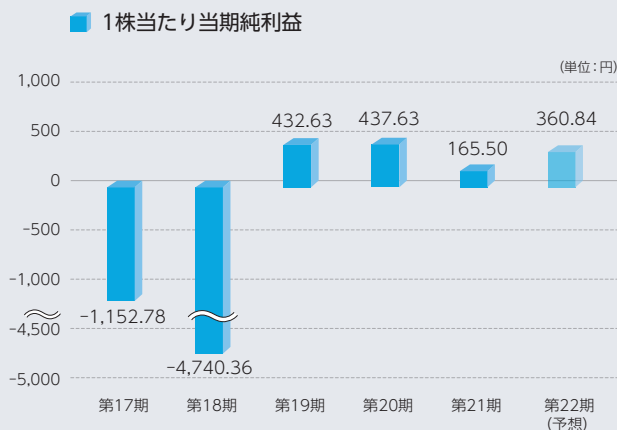
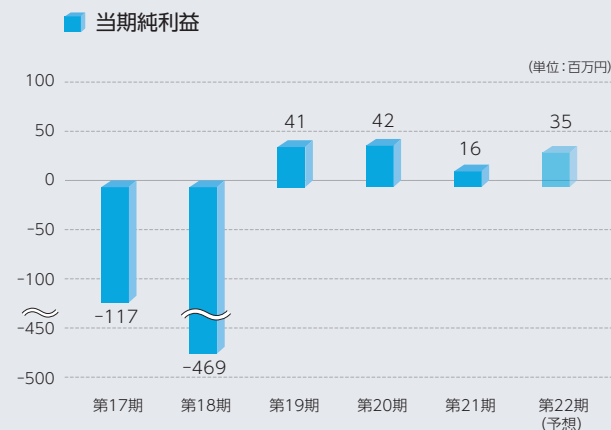
第22期は「事業再構築」と「新規事業創出」をテーマに取り組みます。

特に「事業再構築」は、重要な課題として捉えており、ITソリューション事業において、お客様の様々な要求に迅速に対応するため、お客様別に組織を再編しました。お客様担当部門の明確化により、今後はよりきめ細かいサービスを提供してまいります。また、高度化する案件に対応するために技術力の向上を図り、当社グループの強みでもある社会インフラシステム分野や官公庁分野において、スマートデバイスやクラウドサービスといったお客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供してまいります。人材教育としては、厚生労働省による成長分野

等の人材育成支援奨励金を活用した技術研修に取り組み、プロジェクトマネージャーの育成強化を図ります。

「新規事業創出」では、前述の通り第21期に完成した通信指令システムを中心とした自社ブランド製品の事業化に取り組むため、ソーシャルソリューション事業部を新設いたしました。通信指令システムは、従来品に比べて機能・装置のオプション化を図ったことで拡張性に優れており、ユーザーのニーズに合ったシステムの提供が可能となっています。また、CTIを活用したことで、設置場所の省スペース化を実現し、コンパクトでローコストな製品となりました。これらの特長を生かし、営業・開発・品質保証までの一環体制を構築して事業を推進いたします。

以上の施策を進めることによって、第22期は売上高3,100百万円、営業利益30百万円、経常利益50百万円、当期純利益35百万円を見込んでおります。



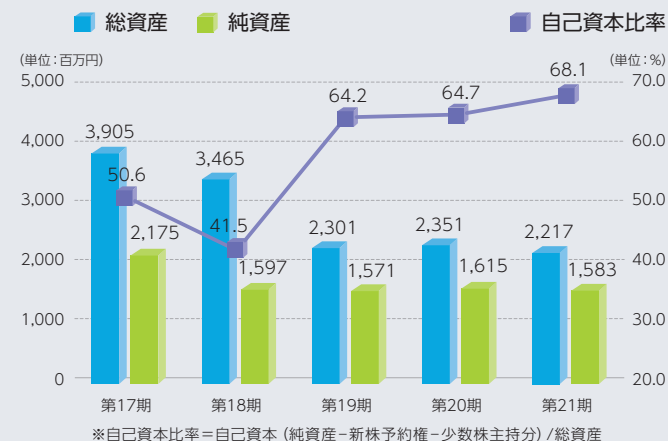
株主のみなさまへ

平素より、株主のみなさまには、格別のご高配を賜りありがとうございます。

当社は「株主さまへの持続的な利益還元」を中期経営計画の基本方針の一つとして取り組んでまいりました。第21期の期末配当金は1株当たり100円となりましたが、創業以来初めて2期連続して配当を行うことができました。第22期の配当金は業績と今後の内部留保の必要性を勘案して決定いたしますが、期末配当として1株当たり200円を予定しております。

第22期は、成長の足場作りの年として、特に新規事業の通信指令システムの受注活動や東京を中心とする首都圏での事業拡大に注力し、第23期以降の業績に繋げてまいります。

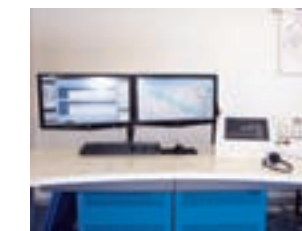
また、第22期は、第23期からの次期中期経営計



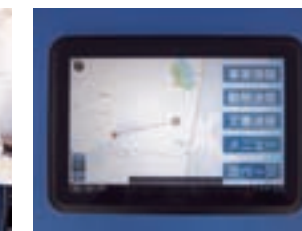
画策定の年でもあります。現在の中期経営計画の立案時には想定できなかった事業環境の変化もあり厳しい状況が続いておりますが、基本方針の一つに掲げた「アクモスブランドの創出」については、通信指令システムという形で実現することができました。第22期の年度初めに社員に向けて、『「今日の飯」を充たし、「明日の夢」を実現しよう』という話をしました。「明日の夢」を具体化し、事業計画として実現していくのが次期中期経営計画となります。「今日の飯」のため、既存事業の再構築により業績回復を図り、「明日の夢」を支える安定収益が確保できる体制を整えてまいります。また、アライアンスを推進し、周辺事業分野や新規事業分野への進出も視野に入れております。さらに、人材を「人財」にするため、人材の活性化と適材適所の人事を実行し、成長の原動力としたいと考えております。

株主のみなさまには、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

当社が開発した通信指令システム



CTIとGISを活用した通信指令台



通信指令台からの指示を即座に把握できる携帯端末

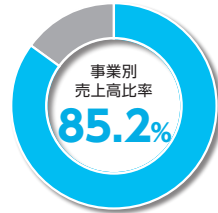
※第22期の数値は、2012年8月3日発表の決算短信に基づいております。発表日時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。なお、総資産・純資産・自己資本比率については、第21期までの実績のみを表示しております。

■ セグメント情報

アクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。

ITソリューション事業

事業別売上高 **26億48百万円**



アクモス株式会社は産業・製造・公共、ACMOSソーシングサービス株式会社は医療・産業のフィールドにおいて、お客様の様々なニーズに対し、最適なITソリューションを提供しております。

21期の状況

電力系システム案件減少、企業のIT投資計画見直し、客先常駐社員への夏季節電対策シフト適用などで売上減少。請負案件において開発期間長期化等により不採算案件が複数発生したものの期中に緊急対応を実施し終息しています。

また、自社ブランド製品開発により通信指令システムが完成、研究開発費として50百万円を計上していますが、第4四半期において人件費を中心とした経費削減対策を実施したことにより、営業利益は黒字化しています。

ACMOSソーシングサービスは、新たに2病院において医療システム運用保守業務を開始、ほぼ予定通りの業績となりました。

以上の結果、前期比で売上高は254百万円減少、営業利益は102百万円減少となりました。

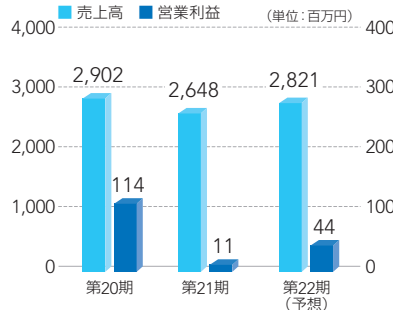


今後の方針

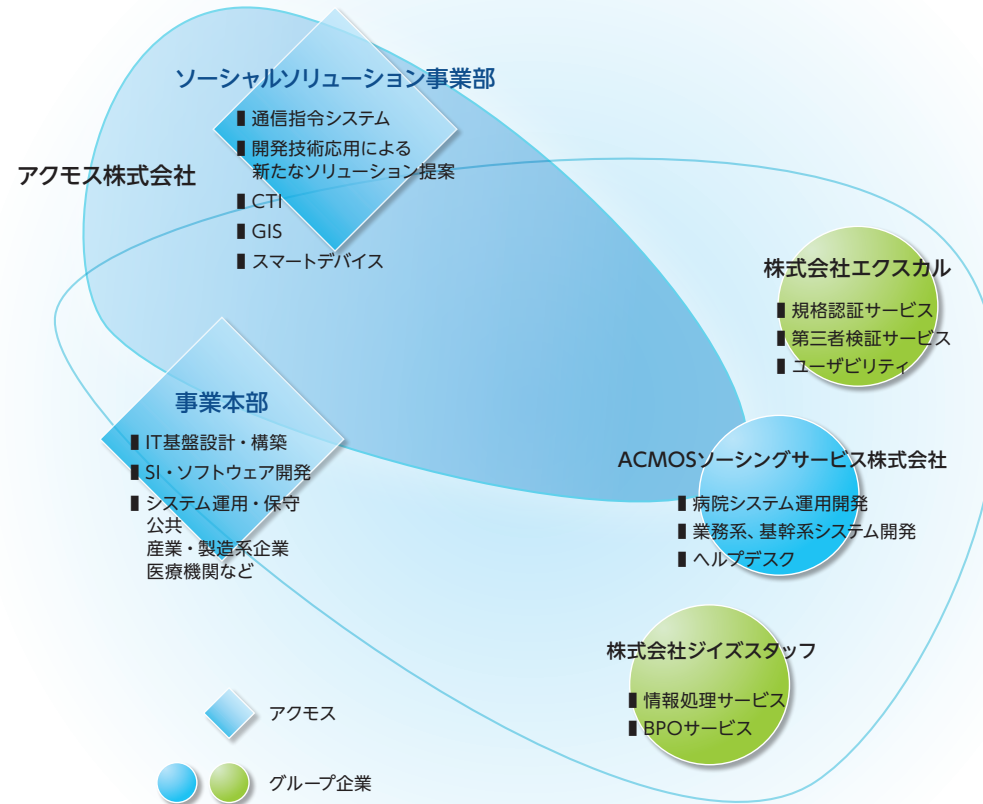
事業環境変化を踏まえ組織を再編、受注拡大を目指していきます。また、通信指令システムの営業促進のため専任事業部を新設しました。

不採算案件事前予防・検出のための品質マネジメントシステムの運用強化、自社製品・納品システム品質確保、顧客からの信頼性向上のためのコンプライアンス徹底に努めていきます。

業績推移



アクモスグループ 事業体制

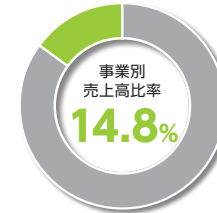


※第21期よりセグメント営業利益算出方法を変更し、のれん償却費を各セグメントに配分しています。第20期の営業利益は変更後の算出方法で再計算しております。

グループ各社のITソリューション、ITサービスを組み合わせて、お客様の多様なニーズにワンストップでご対応いたします。

ITサービス事業

事業別売上高 **4億60百万円**



株式会社ジイズスタッフは情報処理・BPOサービス、株式会社エクスカルはIT製品のテストのフィールドにおいて、お客様の様々なニーズに対し、最適なITサービスを提供しております。

21期の状況

情報処理・BPOサービスは、リピート受注獲得に加え、既存顧客深耕や新規顧客開拓が進み、売上高は前期比で6.8%増加。

IT製品のテストは、第三者検証分野の受注半減により売上高減少。前期実施した事業再構築による固定費削減効果で、販管費は前期比7.4%減少しています。2012年3月より、USB3.0規格認定試験サービスを開始しました。

以上の結果、前期比で売上高は23百万円減少、営業利益は8百万円減少となりました。

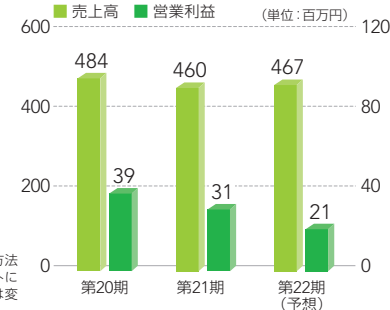


今後の方針

情報処理・BPOサービスは、ECサイト運営等の業務アウトソーシングサービス拡充と新規顧客獲得を目指し、価格競争に負けず、受注拡大に対応できる体制づくりに努めていきます。

IT製品のテストは、顧客の事業環境が厳しく第三者検証分野回復は遅れるものの規格認証分野の貢献により売上はほぼ横ばいの見通し。規格認証機関認定のための体制整備と営業基盤強化のため、他企業や技術コンソーシアムとの連携を進めていきます。

業績推移



※第21期よりセグメント営業利益算出方法を変更し、のれん償却費を各セグメントに配分しています。第20期の営業利益は変更後の算出方法で再計算しております。

■ 特集

事業紹介

システム運用・保守

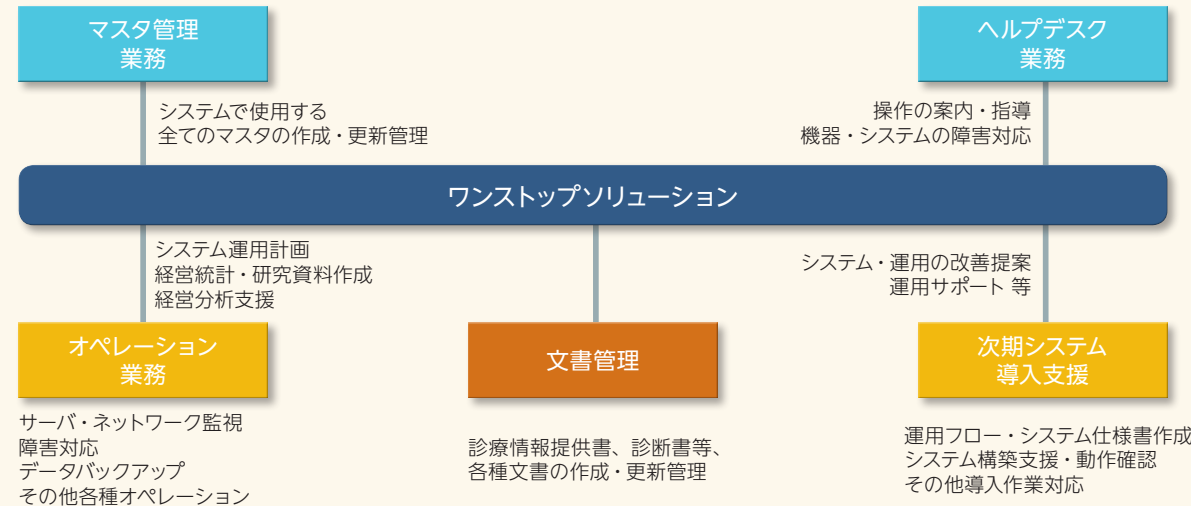
ACMOSソーシングサービス株式会社 医療情報システム運用保守管理

医療機関に導入されるシステムは、電子カルテをはじめとする基幹システムから、看護部門、コメディカル（※）部門、事務部門、経営管理部門に至るまであらゆる部門でのシステム化が進んでおり、それに伴い、各システムの運用管理、システム導入時のマンパワーは増大する一方となっています。

当社では、蓄積したノウハウと豊富な経験を活かし、常駐SEによるシステム運用管理構築など、医療情報システムのトータルソリューションを提供しています。

今後は、現在10名の社内の医療情報技師資格取得者を増やし、SEのさらなる能力向上を目指していきます。また、競合他社との差別化を図るため、業務標準化による低価格化の実現や、プラスアルファの付加価値サービスの提案により、現在9病院の顧客をさらに拡張していきたいと考えています。

※コメディカル…医師と協同して医療を行う、検査技師・放射線技師・薬剤師・理学療法士・栄養士などの病院職員
※資格取得社員数・顧客数は、2012年6月末現在のものです。



キーパーソン対談 Key Persons

アクモス株式会社

取締役副社長
事業本部長

檜山秀夫



常務執行役員
事業本部副本部長

石川 稔

変化する お客様のニーズに応える

■ お客様のニーズが多様化

石川：お客様からは様々なご相談がありますが、最近はクラウドサービスの利用やITを活用した事業継続に関するお問い合わせが増えていきます。

檜山：震災による影響は広範囲でしたが、ITシステムも大きな影響を受けましたから、リスク管理の面でも経営基盤としてどのようにITを捉えるのか、お客様のニーズも大きく変化してきていますね。



檜山取締役副社長

石川：やはり関心が高いのは、システムの二重化やアウトソーシング、クラウドサービスの活用によるビジネスを止めないためのIT投資です。また、スマートデバイスの普及により、業務システムのモバイル化にもニーズがあります。

■ お客様別の組織編成でPSPを目指す

檜山：アクモスのITソリューション事業は、大手企業や官公庁といったお客様に長年支えられて事業を行っております。お客様のニーズの変化に個々に対応するだけではなく、当社からIT活用の積極的なご提案を進めていきたいと考えています。当社の社員は

誠実で実直ですが、今後はお客様の問題解決に技術面で貢献するような積極性が必要になってくると思っています。

石川：システム開発からネットワークの構築、保守運用サービスにいたるまで自社の技術者で対応できるのは、お客様のニーズが多様化する中で一番の強みと言えます。緊急時の対応まで含めたワンストップサービス（※1）をご提案する上でも重要なキーであると考えています。

檜山：お客様の様々なニーズに迅速に対応するため、第22期で行った組織変更により、アクモスの事業本部はお客様別の組織編成となりました。今まで以上に軸足をお客様に置いた体制で、品質保証・保守まで含むITソリューションを提供し、お客様の事業継続と収益向上に貢献する「PSP：プロフェッショナル・サービス・プロバイダー（※2）」をアクモスグループ全員で目指していきたいと思っています。



石川常務執行役員

※1：ワンストップサービス…コンサルティングから開発、運用・保守までの各フェーズでソリューションを提供するサービス。お客様の様々なニーズにトータルに対応可能。

※2：PSP：プロフェッショナル・サービス・プロバイダー…アクモスグループのキーコンセプト。「専門性を有し、お客様の期待値を超えるサービスの提供を担う人・企業」を表しています。

■ 連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第20期 2011年6月30日現在	第21期 2012年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,758,715	1,701,664
固定資産	592,974	515,515
有形固定資産	223,594	188,872
無形固定資産	286,181	257,685
投資その他の資産	83,198	68,957
資産合計	2,351,690	2,217,180
負債の部		
流動負債	548,151	496,154
固定負債	187,617	137,152
負債合計	735,768	633,307
純資産の部		
株主資本	1,520,228	1,507,182
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△ 295,392	△ 308,438
自己株式	△ 53,911	△ 53,911
その他の包括利益累計額	2,449	3,063
少数株主持分	93,244	73,626
純資産合計	1,615,921	1,583,872
負債純資産合計	2,351,690	2,217,180

Point 1 資産の部

流動資産の減少の主な理由は、受取手形及び売掛金80百万円の減少、現金及び預金14百万円の増加によるものです。

有形固定資産の減少の主な理由は、建物及び構築物33百万円、工具器具備品48百万円の減少によるものです。

無形固定資産の減少の主な理由は、のれんの償却55百万円計上によるものです。

投資その他の資産の減少の主な理由は、長期貸付金の減少15百万円によるものです。

Point 2 負債の部

流動負債の減少の主な理由は、未払費用49百万円、買掛金26百万円の減少、短期借入金60百万円の増加によるものです。

固定負債の減少の主な理由は、長期借入金が45百万円減少したことによるものです。

Point 3 純資産の部

純資産減少の主な理由は、少数株主持分19百万円の減少によるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第20期 (自 2010年7月 1日 至 2011年6月30日)	第21期 (自 2011年7月 1日 至 2012年6月30日)
売上高	3,320,847	3,033,451
売上原価	2,255,334	2,047,898
売上総利益	1,065,512	985,553
販売費及び一般管理費	944,504	975,480
営業利益	121,008	10,073
営業外収益	10,505	26,797
営業外費用	6,170	5,188
経常利益	125,344	31,682
特別利益	8,480	0
特別損失	70,011	20,858
税金等調整前当期純利益	63,812	10,823
法人税等	22,115	14,388
少数株主損益調整前当期純利益 (△損失)	41,697	△ 3,564
少数株主損失	750	19,617
当期純利益	42,447	16,052

Point 連結損益計算書

前期には官公庁システム案件の売上301百万円があったこと、主要顧客における案件減少・見直しなどの影響もあり、売上高は前期比で減少しています。ITソリューション事業にて、自社ブランド製品開発のために研究開発費50百万円を計上したものの、第4四半期に人件費を含む経費削減策を実施したことなどにより、営業利益は黒字化しました。営業外収益の主な内訳は助成金収入16百万円、特別損失の主な内訳は減損損失18百万円となっております。

■ 連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第20期 (自 2010年7月 1日 至 2011年6月30日)	第21期 (自 2011年7月 1日 至 2012年6月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	41,697	△ 3,564
その他の包括利益	2,228	614
包括利益	43,925	△ 2,949
(内訳)親会社株主に係る包括利益	44,676	16,667
少数株主に係る包括利益	△ 750	△ 19,617

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第20期 (自 2010年7月 1日 至 2011年6月30日)	第21期 (自 2011年7月 1日 至 2012年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,669	57,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,839	△ 43,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,360	△ 39,778
現金及び現金同等物の増減額	※ 65,403	△ 24,953
現金及び現金同等物の期首残高	1,011,766	1,077,169
現金及び現金同等物の期末残高	1,077,169	1,052,216

※連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増加額24,933千円を含んでおります。

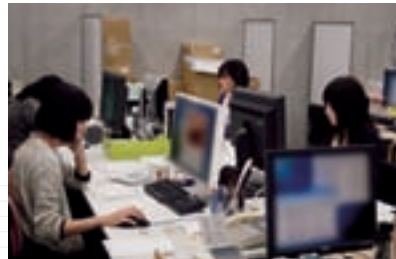
Point 連結キャッシュ・フロー計算書

仕入債務の減少26百万円、その他負債の減少74百万円、のれんの償却55百万円、減価償却費26百万円、減損損失18百万円、売上債権の減少62百万円などにより、営業キャッシュ・フローが57百万円増加しております。

定期預金の預入による支出77百万円、定期預金の解約による収入38百万円により、投資キャッシュ・フローが43百万円減少しております。

短期及び長期借入金の借入と返済による純額の支出11百万円、配当金の支払額28百万円により、財務キャッシュ・フローが39百万円減少しております。

■ アクモスジャンクション



株式会社ジイズスタッフ ECサイトのデータ更新事務局運営業務が好調

株式会社ジイズスタッフは、大手レストランサイトの更新事務局運営業務を行っています。この業務は短期間での作業が必要とされますが、スタッフの教育と管理体制強化に注力したことによって迅速に多くのページ更新が可能となり、お客様からは高い評価を得ています。来期以降はこれまでに修得した技術を応用し、複雑な電話対応が必要となるものや画像加工作業など、より難易度の高い業務の受注に向けスタッフを増員し、さらなる成長を目指していく方針です。



■ 株式会社ジイズスタッフ
■ 所在地：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-8 野村不動産神田小川町ビル3階
■ URL：http://www.gstf.jp/ ■ 電話 03-5217-3131 FAX：03-5217-3134

株式会社エクスカル 国内初のUSB3.0認定ラボに

株式会社エクスカルは、2012年2月、米国インテル社ほか6社により設立されたUSBインタプリメンターズ・フォーラムから正式に認定を受け、USB3.0製品の規格認証試験を行う日本国内初のUSB3.0認定ラボとなりました。これにより、今まで海外でしか取得できなかったUSB3.0製品向けロゴが、国内で認定試験を受けることにより取得可能となりました。

2012年6月にUSB3.0トップセミナーを開催、9月には株式会社東洋テクニカ、レクロイ・ジャパン株式会社との共同でUSB3.0プリテストサービス(※)を実施、また11月にはUSB規格認定試験初心者のためのUSBコンプライアンス・ビギナーズセミナー開催を計画するなど、今後の拡大分野として取り組んでいます。

※USB3.0プリテストサービス…USB3.0開発者向けの無料テストサービス。USB3.0規格認定試験と同じテスト機材、同じテストを実施することで、新規開発されるUSB3.0製品に対する認定試験の内容を開発者に理解していただき、合格しやすくするサービスです。



■ 株式会社エクスカル
■ 所在地：〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地 横浜ビジネスパークウエストタワー14階
■ URL：http://www.xxcal.co.jp/ ■ 電話 045-332-7333 FAX：045-332-7444



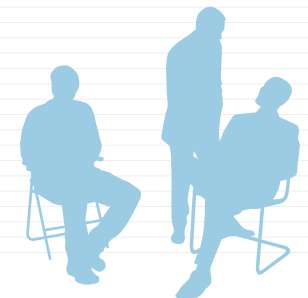
アクモス株式会社 技術研修



アクモス株式会社は、中期経営計画の基本方針の一つに「持続的成長のための人財力、技術力強化」を掲げ、社員教育に注力しています。2012年4月からは厚生労働省による「成長分野等人材育成支援奨励金」を活用した技術研修を開始しました。技術研修といってもプログラミング言語等の開発技術だけではなく、ネットワーク構築、ソフトウェアテスト、文章作成、ソリューション営業など様々なカリキュラムによりSI企業のビジネスパーソンとしての総合力強化を目指します。

2012年7月に行われた『ソリューション営業入門講座』には、新入社員だけでなく、様々な事業部に所属する中堅社員、他業種からの中途入社者等も参加、SI企業のソリューション営業を改めて学びたい機会となりました。

アクモス株式会社は、今後も引き続き人財育成に努めていきます。



■ アンケート結果報告

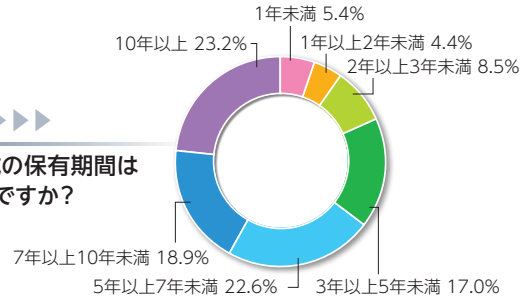
アンケート御礼

2011年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、数多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

アンケート実施概要
 実施期間：2011年9月27日～2011年10月31日
 ご回答いただいた株主さま 526名 (全体の14.3%)

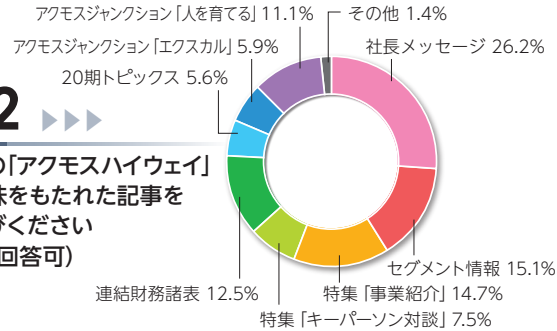
Q1

当社の株式の保有期間はどのくらいですか？



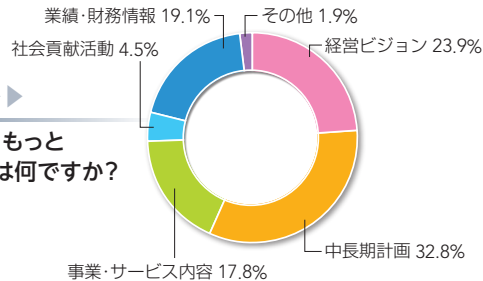
Q2

前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください (複数回答可)



Q3

当社に関して、もっと知りたい情報は何ですか？ (複数回答可)



株主さまからのご意見

- 健全で安定性のある経営をお願いします。配当金を出していく姿勢は好ましいです。(40代 女性)
- 株価の回復を特に望む。少々現在値を上げましたが買値には程遠い状態。業績を伸ばして頑張してほしい。(60代 男性)
- 会社経営が軌道に乗って来た様な気がします。これからが楽しみであって、また、勝負の時機だと思います。(60代 男性)

▶ アンケートへのご協力をお願い致します

株主のみなさまとのコミュニケーション充実を図るため、今年も株主さまアンケートを実施させていただきます。同封のアンケートハガキに必要事項を記入し、2012年10月31日(消印有効)までにご返送ください。アンケートにご協力いただき、お名前・ご住所等を記入いただいた方の中から抽選で300名様に、特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンのフェアトレード商品をお送りいたします。

お忙しい中お手数をおかけしますが、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ 社会貢献活動報告

当社では、株主さまアンケート謝礼品購入のほか、社内で行った募金の寄付により、特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンの国際協力・災害支援活動を支援しています。2011年に行った募金活動では南スーダンの井戸建設に貢献することができました。



■ 会社概要 / 株式の状況

■ 会社の概況 (平成24年6月30日現在)

商号 アクモス株式会社
 設立 平成3年8月23日
 資本金 6億9,325万円
 社員数 連結275名 (単体223名)
 主な事業
 ・ITソリューション
 IT基盤設計・構築
 SI・ソフト開発
 システム運用・保守
 ・ITサービス
 情報処理
 検証・評価・認証

■ 役員及び執行役員の状況 (平成24年9月27日現在)

代表取締役社長	飯島 秀 幸	常務執行役員	上 野 隆
取締役副社長	檜 山 秀 夫	常務執行役員	石 川 稔
取締役相談役	宮 本 治	執行役員	深 作 耕 一
取締役専務執行役員	佐 藤 修 一	執行役員	鈴 木 伸 昌
取締役(社外)	柴 田 洋 一	執行役員	清 川 明 宏
監査役(常勤)	荻 原 啓 一	執行役員	中 川 智 章
監査役(非常勤)	星 野 隆 宏	執行役員	米 川 渡
監査役(非常勤)	平 野 喜久臣		
監査役(非常勤)	金 子 登志雄		

※取締役及び監査役については、第21回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

■ 主な事業所 (平成24年6月30日現在)

本社 〒101-0052
 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
 野村不動産神田小川町ビル
 TEL：03-5217-3121

茨城本部 〒319-1112
 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7
 TEL：029-270-5555

つくば事業所 〒300-0847
 茨城県土浦市御町一丁目1番1号 関鉄つくばビル2F
 TEL：029-834-3391

■ 株式の状況 (平成24年6月30日現在)

発行可能株式総数 323,000 株
 発行済株式総数 102,154 株
 議決権を有する株主数 3,965 名
 上位10名の株主の状況

株主名	持株数(株)
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	19,050
飯島秀幸	10,764
宮本治	4,685
アクモスグループ社員持株会	3,093
株式会社ベンチャー総研	2,000
武田英一郎	1,500
新保幸男	1,250
金子登志雄	960
檜山秀夫	827
白鳥時忠	746

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

株式分割のお知らせ

平成25年6月30日(日曜日)(実質的には平成25年6月28日(金曜日))を基準日として、同日最終株主名簿に記載された株主様の所有する普通株式を1株につき100株の割合をもって分割いたします。

- ・基準日公告日 平成25年6月14日(金曜日)
- ・基準日 平成25年6月30日(日曜日)
 ※実質的には平成25年6月28日(金曜日)
- ・効力発生日 平成25年7月1日(月曜日)

単元株制度採用のお知らせ

株式分割の効力発生日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

効力発生日 平成25年7月1日(月曜日)

※平成25年6月26日(水曜日)をもって、証券取引所における売買単位も100株に変更されることになります。

■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html (電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 株式事務関係のお問い合わせ

お問い合わせ先・ 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレフォンセンター 電話0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
--------------------	--

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレフォンセンターにお問い合わせください。



本社
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
野村不動産神田小川町ビル
TEL : 03-5217-3121
FAX : 03-5217-3122



JR東海駅より車で10分

茨城本部
〒319-1112
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7
TEL : 029-270-5555
FAX : 029-270-5531

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



アクモス 株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 <http://www.acmos.co.jp/>

アクモスハイウェイは
環境に配慮して制作しています。



グリーン電力で印刷しています。



環境に配慮した用紙、インクを採用
しています。

JASDAQ 証券コード : 6888

編集・発行 アクモス株式会社 経営企画室
制作 宝印刷株式会社